

平成26年度奈良県職員採用I種試験を次のとおり実施します。

平成26年5月12日

奈良県人事委員会委員長 栗山道義

平成26年度奈良県職員採用I種試験案内

平成26年5月12日

奈良県人事委員会

受付期間 <インターネット>平成26年5月14日(水)～5月27日(火)

<郵送>平成26年5月14日(水)～5月30日(金)

第1次試験日 平成26年6月22日(日)

試験地 奈良県・東京都

平成26年度奈良県職員採用I種試験を次のとおり行います。

1 試験職種・採用予定人員等

試験職種	採用予定人員	筆記試験分野	職務内容
総合職	行政A 45人程度	「行政A」	知事部局（本庁・出先機関）、教育委員会事務局、水道局などに勤務し、一般行政全般に従事します。 (注) 総合職を受験する場合は、希望する筆記試験分野を1分野申込時に選択してください。
	行政B 5人程度	「行政B」	
	土木建築 30人程度	「土木」「建築」のいずれかを選択	
	設備・化学 10人程度	「電気」「機械」「化学」のいずれかを選択	
	農林	「農学」「	

	10人程度	林学」のいずれかを選択	
資格職	薬剤師 8人程度	「薬剤師」	知事部局（本庁・出先機関）、病院などに勤務し、薬剤行政事務、監視員業務、調剤業務などに従事します。
	獣医師 7人程度	「獣医師」	知事部局（本庁・出先機関）に勤務し、食品衛生、動物愛護や畜産行政事務などに従事します。
警察行政職	警察行政 7人程度	「警察行政」	警察本部又は警察署などに勤務し、警察行政事務に従事します。

※ 採用予定人員は、現時点での見通しですので、変更になることがあります。

※ 試験職種及び筆記試験分野の受付後の変更は認めません。

※ 受験者の試験の成績が一定以下の場合は、合格人数が採用予定人員を下回ることがあります。

2 受験資格

(1) 次のいずれかに該当する人

① 昭和60年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人（資格職については、昭和54年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人）

② 平成5年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人、又は平成27年3月末日までに卒業見込みの人

※②については、資格職を除きます。

※日本国籍を有しない人については、在留活動に制限のない在留の資格を有する人に限ります。

(2) 以下の職種については、上記のほかにそれぞれ次の要件が必要です。

警察行政職	警察行政	日本国籍を有する人
資 格 職	薬 剤 師	薬剤師免許を有する人又は平成２７年に実施される薬剤師国家試験により当該免許を取得する見込みの人 なお、薬剤師免許取得見込みで受験した人が、平成２７年に実施される国家試験に合格しなかった場合は、採用される資格を失います。
	獣 医 師	① 獣医師免許を有する人又は平成２７年に実施される獣医師国家試験により当該免許を取得する見込みの人 なお、獣医師免許取得見込みで受験した人が、平成２７年に実施される国家試験に合格しなかった場合は、採用される資格を失います。 ② 日本国籍を有する人

(3) 地方公務員法第１６条各号のいずれにも該当しない人

- ・ 成年被後見人又は被保佐人（民法の一部を改正する法律の規定により従前の例によることとされる準禁治産者を含む。）
- ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 奈良県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から２年を経過しない者
- ・ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験日時・試験会場

試 験	試 験 日 時	試 験 会 場
-----	---------	---------

第1次 試 験	筆 記 試 験	6月22日（日） 受付開始 午前8時10分 試験開始 午前9時20分 試験終了 午後0時55分頃 （行政B） 午後3時20分頃 （行政B以外）	奈良会場 ・奈良県立畝傍高等学校（橿原市八木町3-13-2） ・奈良県立磯城野高等学校（磯城郡田原本町258） ・奈良県立大学（奈良市船橋町10） 東京会場 ・中央大学理工学部（東京都文京区春日1-13-27）
	口 述 試 験 ※資格職は除く。	7月9日（水）～15日（火） のうち指定する1日 （詳細は、教養試験及び専門試験（行政Bの場合は教養試験）で一定の点数に達している人に対して通知します。）	奈良県自治研修所 （奈良市大安寺1丁目23-2）
第2次 試 験	第1次試験合格者について、8月1日（金）～13日（水）のうち指定する1日に奈良県自治研修所において実施します。 （詳細は、第1次試験合格者に通知します。）		

※ 第1次試験会場は、奈良会場又は東京会場のいずれか希望する試験会場を選択できます。

なお、奈良会場を選んだ場合、奈良県立畝傍高等学校、奈良県立磯城野高等学校又は奈良県立大学のうちいずれかを受験票で指定します。

4 試験の方法及び内容

次により、第1次試験と、第1次試験合格者に対して第2次試験を行います。

出題は、活字印刷文により行います。

＜総合職及び警察行政職＞

試験		種 目	配 点	内 容
第 1 次 試 験	筆記試験	教 養 試 験 (全試験分野)	100点	公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。 50題出題のうち20題は必須解答、残りの30題から15題の選択解答です。 なお、出題分野は、別表を参照してください。 (1時間45分)
		専 門 試 験 (行政Bは除く。)	100点	専門的知識及び能力について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。 行政A及び警察行政の分野は50題出題の中から30題を選択解答、その他の分野は40題出題の中から30題を選択解答です。 なお、出題分野は、別表を参照してください。 (1時間30分)
		論 文 試 験 (行政Bは除く。)	100点	各分野ごとの課題により大学卒業程度の知識、構成力、表現力などについて筆記試験を行います。 (論文試験は、日本語での記述が必要です。) (1時間15分) <u>※採点は、第2次試験で行います。論文</u>

			試験を受験しなかった場合は、棄権とみなします。
		自己アピール 論文試験 (行政Bのみ)	100点 県政への熱意、意欲を問う課題により大学卒業程度の構成力、発想力、自己アピールの具体性などについて筆記試験を行います。 (自己アピール論文試験は、日本語での記述が必要です。) (1時間15分)
		口述試験	300点 集団面接による試験を行います。
第2次試験		口述試験	400点 個別面接及び集団討論(行政Bは個別プレゼンテーション面接及びグループワーク)による試験を行います。 ※行政Bの個別プレゼンテーション面接では、自己アピール論文の内容について5分程度のプレゼンテーションをしていただきます。
		適性検査	— 公務員として必要な適性について検査を行います。

※ 合否決定は、次のとおり行います。

【総合職（行政B以外）及び警察行政職】

第1次試験については、教養試験、専門試験及び口述試験の合計得点（500点満点）により決定します。

なお、第1次試験における口述試験の対象者は、6月22日（日）に実施する筆記試験（教養・専門試験）の成績により決定します。

第2次試験については、論文試験及び口述試験の合計得点（500点満点）並びに

適性検査結果により決定します（得点が同点の場合は、第1次試験の結果で判定します。）。

【総合職（行政B）】

第1次試験については、教養試験、自己アピール論文試験及び口述試験の合計得点（500点満点）により決定します。

なお、第1次試験における口述試験の対象者は、6月22日（日）に実施する筆記試験（教養試験）の成績により決定します。

第2次試験については、口述試験の得点（400点満点）並びに適性検査結果により決定します（得点が同点の場合は、第1次試験の結果で判定します。）。

※ 総合職及び警察行政職の第1次試験における口述試験対象者は、6月30日（月）に奈良県庁及び奈良県奈良総合庁舎（奈良市法蓮町）掲示板に受験番号を掲示するほか、対象者に対して通知する予定です。また、口述試験対象者の受験番号は、6月30日（月）から2週間、県人事委員会ホームページ（<http://www.pref.nara.jp/1702.htm>）でも確認できます。

※ 各試験種目には、それぞれ合格基準があり、一つでも基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。

<資格職>

試験		種 目	配 点	内 容
第 1	筆	教 養 試 験	100点	公務員として必要な一般的知識及び知能について、大学卒業程度で択一式による試験を行います。 50題出題のうち20題は必須解答、残りの30題から15題の選択解答です。 なお、出題分野は、別表を参照してください。 (1時間45分)
				専門的知識及び能力について、大学卒業程度で

次 試 験	記 試 験	専 門 試 験	100点	択一式による試験を行います。40題出題の中から30題を選択解答です。 なお、出題分野は、別表を参照してください。 (1時間30分)
		論 文 試 験	50点	各分野ごとの課題により、大学卒業程度の知識、構成力、表現力などについて筆記試験を行います。 (論文試験は日本語での記述が必要です。) (1時間15分)
第 2 次 試 験		口 述 試 験	500点	個別面接及び集団討論による試験を行います。
		適 性 検 査	—	公務員として必要な適性について検査を行います。

※ 合否決定は、次のとおり行います。

【資格職】

第1次試験については教養試験、専門試験及び論文試験の合計得点（250点満点）により、第2次試験については第1次試験及び口述試験の合計得点（750点満点）並びに適性検査結果により決定します。

※ 各試験種目には、それぞれ合格基準があり、一つでも基準に達しない場合は不合格となります。したがって、合計得点及び順位が上位であっても不合格となる場合があります。

5 合格発表

区 分	時 期	方 法
第1次試験合格者発表	7月23日（水）午前9時（	奈良県庁及び奈良県奈良

	予定)	総合庁舎（奈良市法蓮町）に受験番号を掲示するほか、合格者に通知します。
最 終 合 格 者 発 表	8 月 2 9 日（金）午前 9 時（予定）	

※ 第 1 次試験合格者及び最終合格者の受験番号は、合格発表後 2 週間、県人事委員会ホームページ（<http://www.pref.nara.jp/1702.htm>）でも確認できます。

6 受験手続

原則としてインターネットにより申し込んでください（経費節減、省力化にもつながります。）。

※インターネットを使用できる環境にない場合には、郵送による申込みを利用してください。

◎申込方法により申込期間が異なりますので、注意してください。

◎申込みできる試験職種、試験分野及び試験会場は、一つに限ります。受付後の変更は認めません。

イ ン タ ー ネ ッ ト に よ る 申 込 み	
申込方法	1 県人事委員会のホームページ （http://www.pref.nara.jp/1702.htm）「職員採用試験情報」の「電子申請」のボックスから電子申請・届出システムに接続してください。 2 「電子申請サービスはこちら」をクリックすると手続き申込画面が開きます。登録がまだの方は、「利用者登録」をクリックし、手順に従って利用者登録を行ってください。 <u>（登録したパスワードは、必ず控えをとっておいてください。）</u> 3 利用者 I D 及びパスワードによりログインのうえ、受験申込みを行ってください。整理番号とパスワードが表示されます。（整理番号とパスワードは申込内容の照会が必要です。） 4 受験申込後、申込完了通知メールが自動送信されます。

	5 受付事務完了後、審査完了通知メールが送信されますので、その内容に従って、受験票をダウンロードのうえプリントアウトしてください。写真（最近3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向縦5 cm、横4 cmのもの）を貼って試験当日に持参してください。 <u>※審査完了のメールが5月28日（水）までに到着しない場合には、必ず5月29日（木）に奈良県人事委員会事務局までお問い合わせください。</u> ※申込受付期間中にサーバーがメンテナンス等により停止している場合には、期間内の他の日に変更するか、郵送により申し込んでください。
申込受付 期 間	5月14日（水）～5月27日（火） ※5月14日（水）は午前9時から、5月27日（火）は午後5時までに到着したものを受け付けます。

郵 送 に よ る 申 込 み	
申込方法	所定の申込書及び受験票に必要事項を記入し、<u>受験票に写真を貼らないで奈良県人事委員会事務局あてに必ず簡易書留で郵送してください。</u> ・ 封筒の表に必ず「行政A受験」などと筆記試験分野を朱書し、受験票のはがきに郵便番号、住所、氏名を明記し<u>必ず52円切手を貼ってください。</u> ・ なお、審査完了後に返送された受験票には、写真（最近3か月以内に撮影した上半身脱帽正面向縦5 cm、横4 cmのもの）を貼って、試験当日に持参してください。
	5月14日（水）～5月30日（金）（5月30日消印有効） ※受付期間前に到着した場合は受付できませんのでご注意ください。

申込受付 期 間	※受験票の返送は、5月末以降になる場合があります。ただし、6月4日（水）までに受験票が到着しないときには、奈良県人事委員会事務局までお問い合わせください。
-------------	---

7 合格から採用まで

- (1) 人事委員会は、最終合格者を試験分野ごとの採用候補者名簿に成績順に登載し、各任命権者の請求に応じて採用候補者を成績順に提示します。
- (2) 任命権者ではさらに健康診断、意向聴取などを行い、採用者を決定します。
- (3) 採用は、原則として平成27年4月1日以降の予定です。ただし、平成4年4月1日以前に生まれた人で学校既卒者については、平成27年4月1日より前に採用されることもあります。
- (4) 採用候補者名簿は、原則として1年間有効です。
- (5) 不正行為やいわゆる口利きの行為事実が後日判明した場合、合格時点に遡り、合格を取り消す場合があります。

8 日本国籍を有しない人の任用について

「日本国籍を有しない人は、公権力の行使又は公の意思の形成への参画に携わることはできない。」とする公務員に関する基本原則に基づいた任用がなされます。

- (1) 日本国籍を有しない人は、各任命権者が定める次の職以外の職に任用されます。

ア 「公権力の行使」に携わる職（代表例）

- ・ 許可、認可、免許等処分に関する事務（各種営業許可、開発許可、建築確認等）
- ・ 報告の徴収及び検査に関する事務（保険医療機関等に関する報告の徴収、各種立入検査等）
- ・ 県税の賦課決定、徴収及び滞納処分に関する事務
- ・ 補助金・交付金の交付及び貸付金の貸付けの決定に関する事務
- ・ 不服申立てに対する裁決に関する事務
- ・ その他個人、法人その他の団体の権利義務に直接具体的な効果を及ぼす事務

イ 「公の意思の形成への参画」に携わる職

- ・ 県行政についての企画、立案又は決定に参画する職とし、原則として「所属長及び本庁課長級以上の職」などです。

(2) 日本国籍を有しない人は、採用時に「在留活動に制限のない在留の資格」がない場合には採用されません。

9 給与

現行の初任給月額（総合職の場合）は178,800円で、このほか、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当などがそれぞれの条件に応じて支給されます。

なお、初任給は、採用前の経歴などに応じて加算されることがあります。

10 試験結果の開示

この試験の受験者は、下記のとおり奈良県個人情報保護条例に基づき口頭により開示を請求することができます。

なお、電話等による請求では開示できませんので、受験者本人が本人であることを証明する書類（運転免許証、旅券等）を持参のうえ、直接、奈良県人事委員会事務局までお越しください。

試 験	開示請求できる人	開示内容	開示の期間	開示の場所及び時間
第1次試験	第1次試験の不合格者	第1次試験の総合得点、種目別試験結果及び順位	第1次試験合格発表の日から1月間（8月25日（月）まで（予定））	奈良県人事委員会事務局 午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び祝日は、受付していません。）
第2次試験	第2次試験受験者	第1次試験及び第2次試験それぞれの総合得点、種目別試験結果及	最終合格発表の日から1月間（9月29日（	

		び順位	月) まで (	
			予定))	

11 その他

(1) 試験当日は、筆記具、昼食（行政Bの受験者を除く。）及び奈良会場の奈良県立畝傍高等学校、奈良県立磯城野高等学校については上ばき（スリッパなど）と下ばき入れ（ビニール袋など）を必ず持参してください。

(2) 県人事委員会ホームページ（<http://www.pref.nara.jp/1702.htm>）により受験申込状況等の情報を提供します。

(3) 県人事委員会ホームページに教養・専門試験の例題及び論文・集団討論の課題例を掲載します。

また、県政情報センター（県庁舎東棟1F）において閲覧できます。

(4) 災害等で試験が実施できない場合などの緊急のお知らせは、上記のホームページのほか、奈良県ホームページ携帯サイト（<http://www3.pref.nara.jp/keitai/>）「トピックス」に掲載します。

別表

教養試験・専門試験問題出題分野一覧表

種目/ 職種		試験分野	出 題 分 野
教 養 試 験		全試験分野	文章理解、判断推理、数の推理、資料解釈、人権関連、社会科学、人文科学、自然科学等
専 門 職	総 務 課	行 政 A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経済事情、経営学、社会政策、国際関係、一般心理学、統計学、社会学概論等
		土 木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、材料・施工、都市計画、土木計画、造園一般等
		建 築	数学・物理、材料学、構造力学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画、都市計画、建築設備、建築施工等

門 試 験	合 職	電 氣	数学・物理、電磁気学、電気回路、電気計測・制御、電気材料、電子工学、電力工学、通信工学等
		機 械	数学・物理、材料力学、液体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作等
		化 学	数学・物理、物理化学、分析化学、無機化学、無機工業化学、有機化学、有機工業化学、化学工学等
		農 学	栽培学汎論、作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学、植物生理学、畜産一般、農業経済一般等
		林 学	森林政策・森林経営学、造林学（森林生態学及び森林保護学を含む。）、林業工学、林産一般、砂防工学等
	資 格 職	薬 剤 師	物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤、病態・薬物治療、法規・制度等
		獣 医 師	家畜解剖学、家畜生理学、家畜薬理学、家畜病理学、家畜内科学、家畜外科学、家畜繁殖学、家畜寄生虫病学、家畜微生物学、家畜伝染病学、獣医公衆衛生学、家畜衛生学、畜産一般等
	警察行政職	警 察 行 政	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、経済事情、経営学、社会政策、国際関係、一般心理学、統計学、社会学概論等